

宮崎大学同窓会連合会だより

ごあいさつ



宮崎大学同窓会連合会
会長 緒方 明夫

宮崎大学同窓会連合会の一つの事業である「連合会だより」の第一号発行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

「学部別同窓会の連携を推進し、母校の発展に一体となって寄与することを目的とする」と謳って発足しました「宮崎大学同窓会連合会」が、

いよいよその始動の期に入ってきました。

「新しい革袋には新しい酒を注げ」と云いますが、連合会という新しい革袋に、どのような新しい酒を注ぐのか、このことを課題に、私たち連合会の役員・幹事会は、大学の基本方針などについて理解を深めながら、鋭意検討を進めて参りました。その結果、先ずは、連合会への意識固めと会員相互の交流・連携の推進を第一義にするとして、冊子とホームページによる「連合会だより」の発行と「ホームカミングデー」の事業を企画致しました。その最初の事業が、この冊子発行であります。会員交流の大きな橋渡しとなることを願いながらも、体裁、内容、ページ数など手探りの中での作成でもありました。会員皆様の忌憚のないご意見・ご指導を頂きながら、所期の目的に沿えるような「連合会だより」に育てていきたいと思っています。

会員皆様のこれらの事業のご理解とご指導・ご協力をお願い致します。

ごあいさつ



宮崎大学
学長 菅 沼 龍夫

宮崎大学同窓会連合会誌「連合会だより」第一号の発行、誠にありがとうございます。

平成21年4月に待望の宮崎大学同窓会連合会が発足して以来、連合会役員・幹事会の皆様のご尽力により、「連合会だより」がお手元に届けられることとなりました。卒業生の皆様の親睦が深められ、かつ母校との繋がりが

「連合会だより」を通して強まることを期待しています。

本年4月の口蹄疫の発生により宮崎県は甚大な損害を被りましたが、防疫活動に本学農学部の教員、大学院生らも連日参加し、宮崎県内での封じ込めに成功しました。現在、宮崎の畜産復興のために、宮崎大学口蹄疫復興対策支援本部を立ち上げ、全学をあげて復興対策活動に協力しています。

宮崎大学は統合・法人化を経て、平成の大改革が進行中です。「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンを掲げ、農学工学総合研究科博士後期課程と医学獣医学総合研究科博士課程を平成19年と平成22年にそれぞれ開設しました。また、教職大学院を平成20年に設置したところです。21世紀に相応しい、特色ある学際領域の構築が期待されます。

会員皆様の宮崎大学への叱咤激励、ご支援のほどよろしくお願い致します。

宮崎大学同窓会連合会の概要

1. 目的 同窓会連合会は、学部別同窓会の連合組織として、相互の交流及び連携の推進を行い、宮崎大学の基本理念の達成に協力し、その発展に寄与することを目的としています。
2. 事業 同窓会連合会は、次の事業を行います。
 - (1) 学部別同窓会及び同会員間の相互の交流及び連携の推進
 - (2) 宮崎大学との連携及び協力の推進
 - (3) その他同窓会連合会の目的に沿った事業活動
3. 会員 同窓会連合会は、次の学部別同窓会をもって組織します。
 - 宮崎師範学校・宮崎大学教育文化学部同窓会（木犀会）
 - 宮崎医科大学・宮崎大学医学部同窓会（篠懸会）
 - 宮崎大学医学部看護学科同窓会
 - 宮崎大学工学部同窓会
 - 宮崎大学農学部同窓会（船塚会）

各学部同窓会紹介



教育文化学部同窓会「木犀会」



明治18年2月28日宮崎県尋常師範学校創立以来、戦後の宮崎大学学芸学部、教育学部、教育文化学部と変遷するなか、その卒業生で組織する同窓会は、師範時代以来の船塚キャンパス跡地の「金木犀」をシムボルとして昭和25年「木犀会」と改称、現在学校・行政等教育関係を軸に現職会員、退職後の終身会員あわせて約4500名の登録会員で組織しています。教育文化学部附属幼稚園横の木犀会館内に本部事務局をおき、県内7地区（西臼杵・延岡・日向・東児湯・西諸県・都北・日南）と東京に木犀会を組織し連携強化、広がりを図っています。

さきほど10月31日には、この一年間に亡くなった会員116名の霊を木犀会館横の招魂碑（男子明治25年、女子昭和11年建立）に合祀し追悼する新霊合祀慰霊祭を、遺族・会員231名の参列のもと、会員の尺八による哀悼の調べが流れ、会長の追悼のことば、遺族一人一人の献花のうちに、同窓生を偲び合う会とあわせてとり行いました。今後は2月28日、同様に200名近い同窓生が集う母校創立記念祝賀式、また新卒業生を祝福し木犀会入会を歓迎する3月末の宮大卒業祝賀・木犀会入会式を三大自然行事として行うほか、年2回会の事業報告と会員の情報交換交流を図る「木犀会報」（106号を9月、107号を2月初め）の発行があります。

今後はさらに学部との連携を密に、教育関係以外の卒業生を含めた組織の拡充に努めていきたいと思ひます。



平成22年度 新霊合祀慰霊祭



木犀会館横の「金木犀」
母校跡地記念碑（木犀会建立）

医学部同窓会



■ 医学科 ■ 「篠懸会」

医学部医学科の同窓会（篠懸会）は、メンバーの7割が宮崎県外に在住しており、同窓生間の交流を図りにくい環境にあります。今年度で第32期生が卒業しますが、同窓生の5割弱程度しか連絡がとれないのが実情です。毎年発刊の同窓会誌『篠懸』や医学部同窓会ホームページ（URL：<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/alumni/>）により全国の同窓生とコミュニケーションをどうにか保っています。ホームページからは同窓生の書いた最近の著書などの情報も得ることが可能で、最近ようやく全国各地で開催されるブロック別の同窓会の情報も届くようになりました。

総会を定期的に行うことが難しいため、重要事項は各学年の代表（評議員）が集まり決定しています。宮崎大学医学部附属病院新外来棟への絵画の寄贈も評議員会場で話し合い決定致しました。来年早々には宮崎県における地域医療人育成を視野に、同窓会主催で学生（5年生）を対象に地域実習を計画しています。

この度同窓会連合会の発足にあたり、全国の医学部同窓生との絆を改めて深めるとともに、教育文化学部、工学部、農学部同窓生の皆様とも協力し母校である宮崎大学を支援させていただき所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ヒポクラテス



医学部評議員会

■ 看護学科 ■

宮崎大学医学部看護学科は今年で創立10周年を迎え、まだ歴史の浅い学科です。看護学科の先生を顧問とし、卒業生によって立ち上げられた同窓会は、まだ同窓会としての機能を果たしきれていない現状にあります。しかし、現在役員を中心に、同窓会が看護学科の発展と社会への貢献、交流と親睦のために機能できるよう、形づくりを行っているところです。看護学科同窓会にはまだホームページがないため、今年度中にホームページの作成と公開を目標にしています。ホームページを同窓会全般の連絡や、学祭、入学式、卒業式などの大学行事についての配信、またクラス会の連絡等として活用し、会員である卒業生はもちろんのこと在校生にとっても役に立つ気軽な情報交換の場としていきたいと考えています。また、同窓会として歴史が深い、宮崎大学数々の学部同窓会によって成立している同窓会連合会に参加させていただくことで、今後のホームカミングデーの開催等、更なる同窓会としての活発な活動を目指していきたいと思っております。



実習期間の後輩たち ~放課後の一コマ~



総合教育研究棟 ~エントランスの“鵬”の文字~

工学部同窓会



新制大学発足時の3学科から始まった工学部は6学科に増え、加えて工学研究科修士課程、農学部と連携した農学工学総合研究科博士課程と充実した発展を続け、卒業生は1万2千人を超えています。現在、工学部を進化させるための学部改組が検討されているようです。工学部の同窓会は学科毎に組織されているため、工学部同窓会はそれらの連合同窓会となっています。個別同窓会から他学科との繋がりを造ろうと、今年(2010年)5月に関東地区において、機械、化学、電気の合同同窓会(参加者:75名)が開催され、来年は6月に土木も含めた4学科同窓会が企画されております。合同同窓会の気運が機械を中心に広がり、中部地区などの開催も企画されているようです。工学部同窓会は各学科幹事(殆ど大学教員)と学外卒業生からなる役員会を組織し、これまで工学部移転記念碑建立、工学部卒業生名簿作成などで学科の連携を図ってきました。名簿は個人情報保護法によって発行が困難となりましたが、来年の夏には第7回定期総会を開催する予定です。次回総会では学科同窓会と学部同窓会の関連等についての検討も必要ではないかと思っています。本学では宮崎大学同窓会連合会も今年発足しました。同窓生が全学的、更に全国的な視野から相互の交流及び連携を進めて行く機運が進み、更に新生大学法人宮崎大学を物心両面から支援する気持ちも込めて同窓会と宮崎大学との連携及び協力が望まれます。

工学部跡地(現J.A)の記念碑



工学部同窓会建立

工学部玄関のモザイク



移転当時接近するハレー彗星

農学部同窓会「船塚会」



- 1. 血のつながり**

同窓会員のつながりは精神的な血のつながりであると私は言いたい。物理的に言うなら精神的血のつながりなどの論理は成り立たないが、同じ学び舎で学び、同じ教育環境で育った学友の間では、精神的血のつながりがあると言っても過言ではない。
わが宮大農学部同窓会員の結束の堅さも、会員の母校愛の精神の強力さも、お互い精神的血のつながりが強いからである。(元会長 清山芳雄氏の巻頭言より)
- 2. 沿革**

大正13年 宮崎高等農林学校創立
昭和3年 宮崎高等農林学校1回生卒業
宮崎高等農林学校同窓会設立
昭和7年 交友会館・開館
平成元年 宮崎大学農学部同窓会館・船塚会館竣工
現在に至る
- 3. 会員**

正会員：高等農林・農林専門学校・農学部・大学院卒業生等
準会員：農学部学生・農学部大学院生
※現在1万5千余に及び会員数をもち国内外で活躍。
- 4. 主な事業**
 - ・会員相互の連絡・互助
 - ・産業界の振興に寄与
 - ・会員名簿・会報発行
 - ・新入生歓迎会・卒業生歓送会
 - ・在学生就職支援・講演会の共催支援
 - ・優秀学生顕彰(新事業)
- 5. お問い合わせ**

宮崎大学農学部同窓会事務局
TEL 0985-58-2640
Email:funatsuka@agr.miyazaki-u.ac.jp



農学部本館(玄関)



農業博物館と同窓会館(船塚会館)

本学のこの1年間の主な活動状況

その他の活動状況については、大学ホームページをご覧ください。
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>

■ 医学獣医学総合研究科を設置

平成22年4月、教育研究の更なる充実と深化を深めるために、医学系研究科博士課程を改組し、我が国で初めてとなる、医学獣

医学総合研究科医学獣医学専攻（3コース）が設置されました。

本研究科は、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。



■ 松尾壽之名誉教授・元宮崎医科大学長が文化功労者に決定



本学名誉教授・元宮崎医科大学長の松尾壽之先生が2010年度の文化功労者に選ばれました。松尾先生は、昭和3年生まれで現在82歳。昭和34年に東京大学大学院薬学系研究科博士課程を修了し東京大学薬学部助手に採用された後、理化学研究所、米国チューレン大学等を経て、昭和53年に宮崎医科大学医学部教授に昇任。その後、国立循環器病センター研究所長を経て、平成14年4月から平成15年9月まで宮崎医科大学長を務められ、旧宮崎大学と宮崎医科大学の統合による新生宮崎大学の創設に尽力されました。

松尾先生の研究は、ペプチド化学分野において世界をリードする卓越したものであり、ANP, BNP, CNPなどのペプチドホルモンの探索研究は生体情報の伝達機構の解明という基礎科学的側面はもとより、内分泌・神経内分泌や循環器病学などの臨床分野にも多大な影響を与えました。

■ 宮崎大学サテライト・オフィスが移転リニューアルオープン

宮崎市のカリーノ宮崎8階ガガイトに設置されていた「宮崎大学サテライト・オフィス 高等教育コンソーシアム宮崎事務局分室」が8月4日に同市橘通西3丁目のビル1階に移転しました。

同オフィスは、地域への情報発信の場として、また地域の人々と交流しニーズを捉えるアンテナとして、更に県内の教育研究機関（高等教育コンソーシアム宮崎）との交流・連携の場として設置されていましたが、更なる利便性の向上と集客を図ることを目的に移転したものです。

新オフィスでは、これまでどおり各種刊行物の配布や公開講座の受付等を行うほか、通りに面して設置された大型モニターで教育研究活動の情報を映像で案内しています。

また、ボールペンやポロシャツなどの宮崎大学オリジナルグッズや住吉フィールドで生産された牛乳の販売も行っています。



イ ベ ン ト 情 報

平成23年(2011年)“秋”開催予定!

「第1回 宮崎大学ホームカミングデー」

卒業生の皆様に「母校宮崎大学」に集い、母校の近況に触れ、懐かしい恩師や学友との交流・親睦を深めていただき、相互の発展と連携につなげていくために、大学が卒業生の皆様をお招きするものです。詳細については、同窓会連合会ホームページ及び各学部同窓会を通じてお知らせします。

「宮崎大学教育研究支援基金事業」へのご協力をお願い

宮崎大学では、平成16年11月に「宮崎大学教育研究支援基金」を創設し、宮崎大学における教養教育関連事業、教育研究の基盤強化事業、学際領域の教育研究創出事業、地域・国際社会貢献事業の支援を目的に、寄附金の募集を行っております。これまでのご寄附に感謝申し上げますとともに、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(基金ホームページ)

次月号は、宮崎大学同窓会連合会ホームページにて発行いたします。

(同窓会連合会ホームページ)